

## 目 次

・ 提言の要約	1 頁
・ はじめに	2 頁
・ 第 1 章 現状分析	2 頁
1 世帯構成割合の変化と原因	
2 地域社会のつながりの変化と現状	
3 地域の活動への参加意向	
・ 第 2 章 課題の抽出	5 頁
1 地域における生活福祉上の課題	
2 生活福祉上の課題に対応する主体	
・ 第 3 章 政策の提言	7 頁
提言の方向	
地域福祉コミュニティビジネスの創業・活動を支援し、 住民が主体となって地域福祉問題を解決する	
・ 提言 1 コミュニティビジネスの認定制度の創設	
・ 提言 2 地域福祉おこし基金の創設と活用	
・ 提言 3 地域の人材とのマッチングに向けたツールの開発	
・ 提言を活用した取組例	
・ おわりに	14 頁



# 提 言 の 要 約

現状：社会環境の変化、少子高齢化、核家族化、夫婦のみの世帯や単独世帯の増加

地域のつながりの希薄化



地域福祉の担い手の不足

買い物弱者、孤独死等の増加



## **提言の方向 地域福祉コミュニティビジネスの 創業・活動を支援し、住民が主体と なって地域福祉問題を解決する**

### **提言1：コミュニティビジネスの認定制度の創設**

地域福祉のコミュニティビジネスにおける事業主体や事業内容について審査し、その対象としてふさわしい事業者を認定する制度を創設する。

### **提言2：地域福祉おこし基金の創設と活用**

地域福祉のコミュニティビジネス活動を推進するため、市が積立てを行うとともに、市民及び企業等から寄付を募り、活動への支援基金を創設し、これを財源として支援を行う。

### **提言3：地域の人材とのマッチングに向けたツールの開発**

コミュニティビジネスと地域の人材とのマッチングを支援するため、インターネット上にコミュニティビジネスについてのデータベースを構築する。

効果：地域社会の活性化、地域福祉の充実